

## 国際誌『水資源開発』特集号 で名誉会員高橋裕教授の業 績を顕彰——同誌の25年の 歴史の中で初めて——

International Journal of Water  
Resources Development

(IJWRD)にて、東京大学名誉教授高橋裕名誉会員の業績を顕彰する特集号が発刊された(vol.25, no.4, 2009年12月発行)。これは同誌の25年の歴史のなかで始めての企画である。この特集号には、高橋会員が執筆の日本の戦後の河川史と、わが国の河川工学の方向性に関する2編の論文に加え、日、台湾、ブラジル、カンボジア、仏、米、世銀などの研究者から論文が寄せられており、同会員の国際的な活動の広さを物語っている。また、高橋会員の薫陶を受けた、虫明功臣会員(東京大学名誉教授)、沖大幹会員(同教授)、筆者の共著による「変革期にあるわが国の河川・水資源」の3部作の論文も収録されている。2009年12月には東京大学で、同出



写真1 記念パーティでお祝いの花束を受ける高橋名誉会員

版記念と高橋会員の業績を顕彰する特別セッションが国際水資源学会シンポジウムの特別企画として開催された。同セッションでは、まず、同学会会長のC. Totajada博士による挨拶があり、続いて沖会員により高橋会員の業績がスライドを交えて紹介された。最後にIJWRDの編集責任者で、この特集号を企画したA.Biswas博士より、高橋会員の長年にわたる河川工学、水資源開発にかかわる業績をたたえるスピーチがあった。続いて開催された記念パーティでは、アジア各国の多数の水関係者より多くの祝福と感謝が高橋会員に寄せられた。

(正会員 小池俊雄(東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻))

## ブラビジャヤ大学の カレンダーに国際ワークショップ の記念写真が掲載

土木学会コンサルタント委員会の国際競争力小委員会では、「21世紀の国際貢献と人材育成」というテーマで平成20年度からシーズンIIの活動を進めている。この小委員会の特徴は、委員の約半分(10名)が学生委員で構成されていることで、この小委員会の活動項目が学生にとって大変魅力的であることを示している。昨年11月には、これまでに日本が戦後賠償/ODAで実施した典型的な成功事例であるインドネシア・ブラタス川流域における一連のプロジェクトと、



写真1 ブラビジャヤ大学での学生による国際ワークショップ

戦前に八田與一主導の下で建設し地元で大きな評価を得ている台湾の烏山頭ダムを取り上げ、現地大学(プランタスではブラビジャヤ大学、台南では台湾成功大学)の協力を得て現地学生とともに現場を回り、国際貢献にかかわる意見交換の場をもつ機会を得た。ブラビジャヤ大学では、水資源工学科の学生約20名が参加し、日本からの学生委員4名の主導の下で国際ワークショップ形式の意見交換を約2時間行い、プランタス川流域の開発、日本とインドネシアの協力、プランタス・スピリッツ、若い世代の将来の夢などにかかわるテーマを掲げて活発な議論ができた。後日、ブラビジャヤ大学から大学制作のカレンダーが送られた。何とびつくり5月のページに、われわれとの国際ワークショップの記念写真が載っていた。半年後にこのカレンダーをめ



写真2 大学のカレンダーに使われた記念写真

## 講演会「国際建設マネジメント 論——日本の建設産業の国 際化のために——」開催される

土木学会国際委員会(委員長…古田均・関西大学教授)は、講演会「国際建設マネジメント論——日本の建設産業の国際化のために——」を5回シリーズで開催し

くると、インドネシアにしても台湾にしても、今回のわれわれの活動に快く協力していただき、暖かく迎えていただいた方々のことが懐かしく思い出される。

(学生会員 橋本雅和(山梨大学大学院 コンサルタント委員会国際競争力小委員会 学生委員))



写真1 草柳教授の講演

ている。その第1回を2010年2月19日(金)に、第2回を同年4月12日(月)に、土木学会講堂で開催した。第1回、第2回とも80名を超える参加があった。

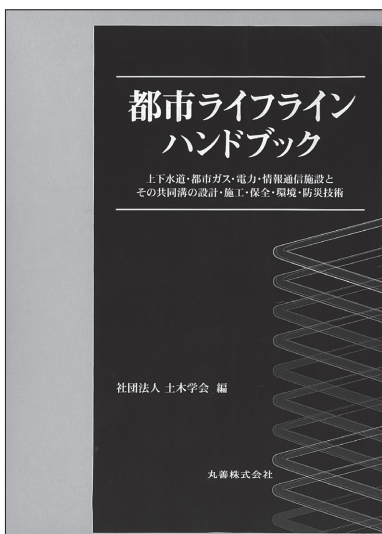
日本の建設産業の国際建設市場への事業展開の必要性が高まっており、これからの土木技術者は海外建設プロジェクトの遂行に必要なマネジメント能力を身につける必要があることから、今回の講演会を、国際委員会国際化推進小委員会企画、実施した。

一連の講演会は、第一部を草柳俊二・高知工科大学教授による講演、第二部を建設関連のトピック的な内容として毎回講師をお呼びし、講演していただく内容となっている。また講演会終了後は意見交換会を開催し、参加者と講師との本音での意見交換、情報交換ができたと思われる。また各回とも参加者にアンケートをとり、参加いただいた方からの生の意見や要望は、できるだけ次回の講演会に反映させ、今後の講演会企画に活かすようにしている。

今後、第3回を6月14日(月)、第4回を7月21日(水)、第5回を9月27日(月)に土木学会で開催する予定である。

(正会員 納多勝(国際委員会 国際化推進小委員会委員長 (株)大林組))

## 土木学会の本



## 都市ライフラインハンドブック

このたび、土木学会出版委員会『都市ライフラインハンドブック』編集小委員会の編さんした同ハンドブックがよいよ刊行の運びとなりました。各ライフライン技術の総合化を図るとともに、今後の都市ライフライン施設の技術開発と制度整備の方向性を示したものです。最近大規模な地震が頻発しております。わが国では巨大海溝型地震や首都直下の地震発生がひっ迫しているとされるのは周知の通りです。兵庫県南部地震をはじめ、過去の例では、災害発生時において一つのライフラインシステムの機能損失が他のシステム機能に重大な影響を与え、かつ災害後の復旧工事がライフライン間で輻輳して都市機能の復旧が遅滞するなどの事態も発生しています。高度成長期に建設されたわが国のライフライン施設は、今後老朽化の進行によって防災性が著しく低下することも予想されています。快適で安全な都市空間の建設のための座右の書として広く活用していただければ幸いです。

- 編集：(社)土木学会 都市ライフラインハンドブック編集小委員会(委員長：濱田 政則)
  - 発行：丸善(株)
  - 2010年1月発行予定、B5判、832ページ、上製本・布クロス装、ケース入
  - 定価：68,250円(本体65,000円+税)→**会員特価：61,430円**※注
  - 送料：590円
- ISBN 978-4-621-08130-3

注文・  
問合せ先

(社)土木学会 出版事業課 書籍販売係  
TEL 03-3355-3445 / FAX 03-5379-2769

■Web注文 <http://www.jsce.or.jp/publication/>  
■FAX注文 学会誌織込み「図書注文書」をご使用ください

丸善(株) 出版事業部  
TEL 03-6367-6038 / FAX 03-6367-6158

※注)丸善への注文には会員特価は適用されません